

第 2 期八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定 にあたっての考え方

1. 策定経過

① 第 1 期八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

平成 26 年 11 月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」の第 10 条において、市町村計画の策定についての努力義務が定められことを受け、平成 28 年 2 月に平成 31 年度までを計画期間として策定。策定にあたっては、国・府の総合戦略を勘案することとなっている。

② 第 5 次八幡市総合計画と第 1 期総合戦略の関係について

第 1 期総合戦略は、第 5 次八幡市総合計画（平成 30 年 3 月）のアクションプラン（行動計画）であり、第 5 次八幡市総合計画は、第 1 期総合戦略の考えを取り込んで策定している。

③ 第 2 期八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

第 1 期総合戦略の計画期間が、本年度で終了することに伴い、令和 2 年度から 5 年間を計画期間とする戦略を令和元年 3 月末までに策定する必要があるが、本市は、令和 2 年 2 月に市長選挙を控えており、現在、策定が進められている国・府の戦略を適宜勘案しながら策定を進める。

2. 策定にあたっての考え方

- ① 第 1 期総合戦略をベースとして、この間の人口移動の状況を踏まえ新たな施策の柱を設ける。
- ② 第 5 次八幡市総合計画から地方創生に資する事業を抜き出し、総合戦略の施策の柱に当てはめる。
- ③ 国・府の総合戦略における新たな視点の反映を検討する。

3. 第 2 期総合戦略における変更点

- ① 第 1 期総合戦略をベースとして、以下の通り、施策体系を整理

第 1 期総合戦略	第 2 期総合戦略
やわた子ども未来プロジェクト	やわた子ども未来プロジェクト
やわたスマートウェルネスシティプロジェクト	やわたスマートウェルネスシティプロジェクト
やわたチャレンジプロジェクト	訪れてよしのやわた発信プロジェクト
	住んでよしのやわたチャレンジプロジェクト

「観幸」と「まちづくり」に分割し、「まちづくり」には、「働く場の創出」の観点を追加するなど 20～30 歳代前半の転出超過の状況に対応

- ② 基本目標及び KPI は、第 5 次八幡市総合計画で定める目標を抜粋。施策についても、第 5 次八幡市総合計画のプロジェクトから抜粋。（対応表は、別紙のとおり。）
- ③ 国、府の新たな視点については、各柱の基本的方向や具体的施策の説明等に反映（以下の通り。）

国・府の新たな視点	第2期総合戦略
<p>(1) 地方へのひと・資金の流れを強化する</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆将来的な地方移住にもつながる「関係人口・創出・拡大 ◆企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化 	<p>3 観幸のまちの創生「訪れてよしのやわた」発信プロジェクトの基本的方向</p> <p><反映箇所></p> <p>～本市ならではのブランドを構築し、これまで以上にプロモーションに取り組むなど、<u>関係人口等の創出・拡大を目指し、地方へのひと・資金の流れの強化を図ります。</u></p>
<p>(2) 新しい時代の流れを力にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆Society5.0の実現に向けた技術の活用。 ◆SDGsを原動力とした地方創生。 ◆「地方から世界へ」。 	<p>4 みんなで創る魅力的なライフタウンの創生「住んでよしのやわたチャレンジプロジェクト」の基本的方向</p> <p><反映箇所></p> <p>～市内への仕事の場の創出や暮らしを楽しめる場の整備など、<u>新しい時代の流れを受け入れながら、より多機能な力を有した生活に潤いをもたらすまちへの転換～</u></p> <p><u>※前段の行動指針等にも反映予定</u></p>
<p>(3) 人材を育て活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援。 	<p>4 みんなで創る魅力的なライフタウンの創生「住んでよしのやわたチャレンジプロジェクト」の基本的方向</p> <p>(3) やわた EDISON チャレンジ!</p> <p><反映箇所></p> <p>～エジソンのようなチャレンジ精神に溢れた<u>地域経済やまちづくりの担い手の輩出を目指し、「やわた EDISON チャレンジ」の名称のもと、八幡発の担い手の発掘・育成等を図ります。</u></p>
<p>(4) 民間と協働する</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地方公共団体に加え、NPO などの地域づくりを担う組織や企業と連携 	<p>2 健幸都市の創生「やわたスマートウェルネス指定プロジェクト」の基本的方向</p> <p><反映箇所></p> <p>～市内のスポーツジムと連携した健康教室やセミナーを開催するなど、<u>地域や民間事業者と連携しながら、誰もがいきいきと活躍できる地域づくりを目指します。</u></p>
<p>(5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現。 	<p>4 みんなで創る魅力的なライフタウンの創生「住んでよしのやわたチャレンジプロジェクト」の基本的方向</p> <p>(2) 「人と人が支え合う暮らしの絆づくり」へのチャレンジ</p> <p><反映箇所></p> <p>～<u>価値観や家族形態、就業形態の変化などライフスタイルの多様化や地域に暮らす外国人の増加などの社会情勢の変化に対応するため、互いに支え合いながら自ら活躍できる「地域共生社会」の実現にチャレンジします。</u></p>
<p>(6) 地域経営の視点で取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント。 	<p><u>※前段の行動指針等に反映予定</u></p>

